

各 位

2025 年 3 月 6 日
国立大学法人 東京農工大学

令和 7 年度東京農工大学一般選抜（前期日程）及び 特別選抜（社会人入試）における入試ミスについて

令和 7 年 2 月 25 日（火）に実施しました東京農工大学一般選抜（前期日程）及び特別選抜（社会人入試）の「化学」の問題冊子にミスがありましたので、下記のとおり公表します。

受験者の皆様をはじめ関係者の皆様に多大なご迷惑とご心配をお掛けしたことを心よりお詫び申し上げます。今後、このようなことがないよう、再発防止に万全を期する所存でございます。

なお、令和 7 年度東京農工大学一般選抜（前期日程）及び特別選抜（社会人入試）の合格発表は、予定どおり 3 月 7 日（金）に行います。

記

1. 問題冊子ミスの内容

化学の試験問題の冒頭に記載している「解答上の注意 5.」の記載内容に誤りがあり、関連する大問 2 の問 [5] について、正答が二つ導ける状態となっていました。

2. 対象となる受験者数

一般選抜：農学部・工学部の「化学」選択志願者は、合計 1,219 名です。

特別選抜：農学部（社会人入試）の「化学」選択志願者は、合計 1 名です。

3. 問題冊子ミス発見の経緯

採点中の確認の際に判明しました。

4. ミスへの対応

大問 2 の問 [5] 自体は、正答が導ける設問です。

ただし、「解答上の注意 5.」の記載内容の誤りにより二つの解が導ける状態になっていました。従いまして、いずれの解も正答としました。

5. 今後の対応策

問題作成及びチェック体制のさらなる改善を行い、入試ミスの防止に努めてまいります。

添付資料 令和 7 年度東京農工大学一般選抜学生募集要項抜粋
令和 7 年度東京農工大学特別選抜学生募集要項抜粋
当該試験問題抜粋
正誤表

◆ 本件に関する問い合わせ◆

東京農工大学教学支援部入試企画課

TEL : 042-367-5543 / FAX : 042-367-5585

令和7(2025)年度

一般選抜学生募集要項

農学部／工学部



東京農工大学

Tokyo University of Agriculture and Technology

令和7年度入学試験日程（一般選抜）

事 項 \ 日 程	前期日程	後期日程
出 願 期 間	令和7年1月27日（月）～ 令和7年2月5日（水）	
試 験 期 日	2月25日（火）	3月12日（水）
合 格 発 表	3月7日（金）	3月22日（土）
入 学 手 続 期 限	3月15日（土）	3月27日（木）

入学定員および募集人員

〔農学部〕

学 科 名	入学定員	募 集 人 員						
		前期日程 試 験	後期日程 試 験	ゼミナール 入 試	学校推薦型 選 抜	学校推薦型 選 抜 (産業動物獣 医師養成枠)	社 会 人 入 試	私費外国人 留学生入試
生 物 生 産 学 科	57 人	38 人	13 人		6 人		若干名	若干名
応用生物科学科	71 人	47 人	16 人		8 人		若干名	若干名
環境資源科学科	61 人	40 人	12 人	3 人	6 人		若干名	若干名
地域生態システム 学 科	76 人	53 人	15 人		8 人		若干名	若干名
共 同 獣 医 学 科	35 人	25 人	6 人		4 人	若干名 (最大2名 程度)		若干名
学 部 計	300 人	203 人	62 人	3 人	32 人			

- (注) 1. 前期日程の募集人員には、学校推薦型選抜（産業動物獣医師養成枠）、社会人入試および私費外国人留学生入試の「若干名」を含みます。ただし、選抜の結果、合格者なしとなる場合があります。
2. ゼミナール入試および学校推薦型選抜の合格者数が募集人員に満たなかった場合は、その欠員分は前期日程の募集人員に加えます。

〔工学部〕

学 科 名	入学定員	募 集 人 員				
		前期日程 試 験	後期日程 試 験	SAIL入試	学校推薦型 選 抜	私費外国人 留学生入試
生 命 工 学 科	81 人	42 人	25 人	7 人	7 人	若干名
生体医用システム工学科	56 人	28 人	18 人	6 人	4 人	若干名
応 用 化 学 科	81 人	42 人	36 人		3 人	若干名
化 学 物 理 工 学 科	81 人	41 人	31 人	5 人	4 人	若干名
機械システム工学科	102 人	52 人	37 人	5 人	8 人	若干名
知能情報システム工学科	120 人	64 人	42 人	7 人	7 人	若干名
学 部 計	521 人	269 人	189 人	30 人	33 人	

- (注) 1. 前期日程の募集人員には私費外国人留学生入試の「若干名」を含みます。ただし、選抜の結果、合格者なしとなる場合があります。
2. SAIL入試および学校推薦型選抜の合格者数が募集人員に満たなかった場合は、その欠員分は前期日程の募集人員に加えます。

農 学 部

選 抜 方 法

- (1) 入学者の選抜は、大学入学共通テストの成績、個別学力検査の成績および調査書の内容を総合して行います。
- (2) 大学入学共通テストの成績の過年度利用は行いません。毎年受験する必要があります。
- (3) 評価のポイントと方法
 - ① 大学入学共通テストの得点と個別学力検査の得点の総合点で評価します。
 - ② 調査書は、志望学部・学科における能力・適性等を多角的に見るための参考資料とします。
 - ③ その他の提出書類は評価の際に考慮しません。
- (4) 合否判定
 - ① 総合点の高い順から合格とします。
 - ② 同点者を合格者と不合格者に分けることは行いません。

入学者選抜実施教科・科目および配点

- (1) 大学入学共通テストで受験を課す教科・科目（全学科6教科8科目）

学 科 名	教 科	科 目 名
全 学 科	国 語	『国語』
	地 理 歴 史 公 民	『地理総合、地理探求』『歴史総合、日本史探求』『歴史総合、世界史探求』『地理総合、歴史総合、公共』『公共、倫理』『公共、政治・経済』から1科目選択
	数 学	『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅱ、数学B、数学C』の計2科目
生 物 生 産 学 科 応 用 生 物 学 科 環 境 資 源 学 科 地 域 生 態 シ ス テ ム 学 科	理 科	『物理』『化学』『生物』『地学』から2科目選択
共 同 獣 医 学 科		『物理』『化学』『生物』から2科目選択
全 学 科	外 国 語	『英語（リスニングを含む。）』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』から1科目選択
	情 報	『情報Ⅰ』

注 意

志願者が、本学の学部・学科が指定した「大学入学共通テストで受験を課す教科・科目」を1科目でも受験していなかった場合、無資格者として扱い、本学の個別学力検査の受験はできません。

旧教育課程履修者に対する経過措置について

令和7年度一般選抜において、平成21年告示の高等学校学習指導要領に基づく教育課程（以下、「旧教育課程」という）を履修した志願者に対する経過措置は以下のとおりです。

＜大学入学共通テスト＞

- 旧教育課程履修者は、令和7年度大学入学共通テストの「経過措置科目」を選択することができます。
- 受験を要する教科・科目数については、上記の大学入学共通テストの利用教科・科目数に準じます。

旧教育課程を履修した志願者に対する経過措置科目	
地 理 歴 史 公 民	「旧世界史A」「旧世界史B」「旧日本史A」「旧日本史B」「旧地理A」「旧地理B」「旧現代社会」「旧倫理」「旧政治・経済」「旧倫理, 旧政治・経済」から1科目選択
数 学	「旧数学Ⅰ・旧数学A」（必須）と「旧数学Ⅱ・旧数学B」「旧簿記・会計」「旧情報関係基礎」から1科目選択 計2科目
情 報	「旧情報」

(2) 個別学力検査で受験を課す教科・科目および配点

前期日程

教科・科目

学 科 名	出題教科・科目名		出題範囲・選択方法等		
全 学 科	理 科	物 理	物理基礎、物理の全範囲から出題する。	物理、化学、生物から 2 科目選択し、出願時に登録した科目とする。	
		化 学	化学基礎、化学の全範囲から出題する。		
		生 物	生物基礎、生物の全範囲から出題する。		
	外 国 語 (英語)	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 論理・表現Ⅰ 論理・表現Ⅱ 論理・表現Ⅲ	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲの各科目に共通する事項をあわせて英語として出題する。		
	数 学	数 学 Ⅰ 数 学 Ⅱ 数 学 Ⅲ 数 学 A 数 学 B 数 学 C	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲは、全範囲から出題する。 数学Aの出題範囲は、「図形の性質、場合の数と確率」の 2 項目とする。 数学Bの出題範囲は、「数列」の 1 項目とする。 数学Cの出題範囲は、「ベクトル、平面上の曲線と複素数平面」の 2 項目とする。		

注 意

- 志願者が、本学の学部・学科が指定した「個別学力検査で受験を課す教科・科目」を1科目でも受験していなかった場合、合否判定の対象となりません。また、それ以後の科目を受験することはできません。
- 「理科」の科目はWEB出願サイトで登録した科目のみ受験することができます。WEB出願サイト登録時には十分注意してください。

配 点

学 科 名	項 目	国 語	地 理 歴 史 公 民	数 学	理 科	外 国 語	情 報	合 計
全 学 科	大 学 入 学 共 通 テ ス ト	200	100 注 1)	200	200	200 注 2)	50 注 4)	950
	個 別 学 力 検 査			200	150 注 3) 150 注 3)	200 英語		700
	計	200	100	400	500	400	50	1,650

注 1) 「地理歴史、公民」で 2 科目を受験した場合は、第 1 解答科目の得点を採用します。

注 2) 「外国語」は 200 点満点とし、「英語」を選択した場合は、リーディングを 130 点、リスニングを 70 点とします。なお、リスニングの免除を大学入試センターに申請し、許された者（以下「リスニング免除者」という。）については、リーディングのみの得点で 200 点満点とします。また、リスニング免除者を除き、リスニングを受験しなかった場合は、「英語」を受験しなかった者として扱います。

注 3) 「理科」は、1 試験時間中(160 分)に、出願時に登録した 2 科目を解答します。

注 4) 「情報」は、50 点満点に換算します。

後期日程

教 科 ・ 科 目

学 科 名	出題教科・科目名		出題範囲・選択方法等
全 学 科	外 国 語 (英語)	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 論理・表現Ⅰ 論理・表現Ⅱ 論理・表現Ⅲ	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲの各科目に共通する事項をあわせて英語として出題する。

配 点

学 科 名	項 目	国 語	地 理 歴 史 公 民	数 学	理 科	外 国 語	情 報	合 計
全 学 科	大 学 入 学 共 通 テ ス ト	200	100 注 1)	200	200	200 注 2)	50 注 3)	950
	個 別 学 力 検 査					400 英語		400
	計	200	100	200	200	600	50	1,350

注 1) 「地理歴史、公民」で 2 科目を受験した場合は、第 1 解答科目の得点を採用します。

注 2) 「外国語」は 200 点満点とし、「英語」を選択した場合は、リーディングを 130 点、リスニングを 70 点とします。なお、リスニングの免除を大学入試センターに申請し、許可された者（以下「リスニング免除者」という。）については、リーディングのみの得点で 200 点満点とします。また、リスニング免除者を除き、リスニングを受験しなかった場合は、「英語」を受験しなかった者として扱います。

注 3) 「情報」は、50 点満点に換算します。

工 学 部

選 抜 方 法

- (1) 入学者の選抜は、大学入学共通テストの成績、個別学力検査の成績および調査書の内容を総合して行います。
- (2) 大学入学共通テストの成績の過年度利用は行いません。毎年受験する必要があります。
- (3) 評価のポイントと方法
 - ① 大学入学共通テストの得点と個別学力検査の得点の総合点で評価します。
 - ② 調査書は、志望学部・学科における能力・適性等を多角的に見るための参考資料とします。
 - ③ その他の提出書類は評価の際に考慮しません。
- (4) 合否判定
 - ① 第1志望者と第2志望者を区別せずに、総合点の高い順に合格とします。ただし、第1志望学科と第2志望学科とともに合格としうる受験者は、第1志望学科において合格とします。
 - ② 同点者を合格者と不合格者に分けることは行いません。

入学者選抜実施教科・科目および配点

- (1) 大学入学共通テストで受験を課す教科・科目 (全学科6教科8科目)

学 科 名	教 科	科 目 名
全 学 科	国 語	『国語』
	地 理 歴 史 公 民	『地理総合、地理探求』『歴史総合、日本史探求』『歴史総合、世界史探求』『地理総合、歴史総合、公共』『公共、倫理』『公共、政治・経済』から1科目選択
	数 学	『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅱ、数学B、数学C』の2科目
生 命 工 学 科	理 科	『物理』『化学』『生物』から2科目選択
生体医用システム工学科		『物理』(必須)と 『化学』『生物』『地学』から1科目選択 計2科目
応 用 化 学 科		『物理』『化学』『生物』から2科目選択
化 学 物 理 工 学 科		『物理』『化学』の2科目
機 械 シ ス テ ム 工 学 科 知能情報システム工学科		『物理』(必須)と 『化学』『生物』『地学』から1科目選択 計2科目
全 学 科	外 国 語	『英語(リスニングを含む。』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』から1科目選択
	情 報	『情報Ⅰ』

注 意

志願者が、本学の学部・学科が指定した「大学入学共通テストで受験を課す教科・科目」を1科目でも受験していなかった場合、無資格者として扱い、本学の個別学力検査の受験はできません。

旧教育課程履修者に対する経過措置について

令和7年度一般選抜において、平成21年告示の高等学校学習指導要領に基づく教育課程（以下、「旧教育課程」という）を履修した志願者に対する経過措置は以下のとおりです。

＜大学入学共通テスト＞

1. 旧教育課程履修者は、令和7年度大学入学共通テストの「経過措置科目」を選択することができます。
2. 受験を要する教科・科目数については、上記の大学入学共通テストの利用教科・科目数に準じます。
3. 工学部一般選抜前期日程試験・後期日程試験において、数学②の経過措置科目「旧情報関係基礎」を選択する受験者は、高校等で履修した者に限ります。

旧教育課程を履修した志願者に対する経過措置科目	
地 理 歴 史 公 民	「旧世界史A」「旧世界史B」「旧日本史A」「旧日本史B」「旧地理A」「旧地理B」「旧現代社会」「旧倫理」「旧政治・経済」「旧倫理, 旧政治・経済」から1科目選択
数 学	「旧数学Ⅰ・旧数学A」（必須）と「旧数学Ⅱ・旧数学B」「旧簿記・会計」「旧情報関係基礎」から1科目選択 計2科目
情 報	「旧情報」

(2) 個別学力検査で受験を課す教科・科目および配点

前期日程

教科・科目

学 科 名	出題教科・科目名		出題範囲・選択方法等
全 学 科	理 科	物 理	物理基礎、物理の全範囲から出題する。
		化 学	化学基礎、化学の全範囲から出題する。
		生 物	生物基礎、生物の全範囲から出題する。
		生 命 工 学 科 :	物理、化学、生物から2科目選択し、出願時に登録した科目とする。
		生体医用システム工学科 :	物理(必須)、「化学・生物から1科目選択」の計2科目とし、出願時に登録した科目とする。
		応 用 化 学 科 :	物理、化学、生物から2科目選択し、出願時に登録した科目とする。
		化 学 物 理 工 学 科 :	物理、化学の2科目
全 学 科	外 国 語 (英語)	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 論理・表現Ⅰ 論理・表現Ⅱ 論理・表現Ⅲ	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲの各科目に共通する事項をあわせて英語として出題する。
		数 学 Ⅰ 数 学 Ⅱ 数 学 Ⅲ 数 学 A 数 学 B 数 学 C	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲは、全範囲から出題する。 数学Aの出題範囲は、「図形の性質、場合の数と確率」の2項目とする。 数学Bの出題範囲は、「数列」の1項目とする。 数学Cの出題範囲は、「ベクトル、平面上の曲線と複素数平面」の2項目とする。

注 意

1. 志願者が、本学の学部・学科が指定した「個別学力検査で受験を課す教科・科目」を1科目でも受験していなかった場合、合否判定の対象となりません。また、それ以後の科目を受験することはできません。
2. 「理科」の科目はWEB出願サイトで登録した科目のみ受験することができます。また、学科ごとに登録できる科目が異なります。WEB出願サイト登録時には十分注意してください。

配 点

学 科 名	項 目	国 語	地 理 歴 史 公 民	数 学	理 科		外 国 語	情 報	合 計
全 学 科	大 学 入 学 共 通 テ ス ト	200	100 注1)	200	200		200 注2)	50 注4)	950
	個 別 学 力 検 査			350	200 注3)	200 注3)	150 英語		900
	計	200	100	550	600		350	50	1,850

注1) 「地理歴史、公民」で2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。

注2) 「外国語」は200点満点とし、「英語」を選択した場合は、リーディングを130点、リスニングを70点とします。なお、リスニングの免除を大学入試センターに申請し、許可された者（以下「リスニング免除者」という。）については、リーディングのみの得点で200点満点とします。また、リスニング免除者を除き、リスニングを受験しなかった場合は、「英語」を受験しなかった者として扱います。

注3) 「理科」は、1試験時間中(160分)に、出願時に登録した、または当該学科が指定した2科目を解答します。

注4) 「情報」は、50点満点に換算します。

第2志望学科

第2志望に指定可能な学科は以下のとおりです。第1志望学科で不合格になった場合に、第2志望学科において選抜の対象となります。

前期日程

第 1 志望学科	個別学力 検査理科 受験科目	大 学 入 学 共 通 テ ス ト 理科受験科目	第 2 志望に指定可能な学科
生 命 工 学 科	物 理 ・ 化 学	物理・化学	第 1 志望を除く 全学科
		物理・生物	生体医用システム工学科、応用化学科、機械システム工学科、知能情報システム工学科
		化学・生物	応用化学科
生体医用システム工学科		物理・化学	第 1 志望を除く 全学科
		物理・生物	生命工学科、応用化学科、機械システム工学科、知能情報システム工学科
		物理・地学	機械システム工学科、知能情報システム工学科
応 用 化 学 科		物理・化学	第 1 志望を除く 全学科
		物理・生物	生命工学科、生体医用システム工学科、機械システム工学科、知能情報システム工学科
		化学・生物	生命工学科
化学物理工学科		物理・化学	第 1 志望を除く 全学科
機械システム工学科		物理・化学	第 1 志望を除く 全学科
		物理・生物	生命工学科、生体医用システム工学科、応用化学科、知能情報システム工学科
		物理・地学	生体医用システム工学科、知能情報システム工学科
知能情報システム工学科		物理・化学	第 1 志望を除く 全学科
		物理・生物	生命工学科、生体医用システム工学科、応用化学科、機械システム工学科
		物理・地学	生体医用システム工学科、機械システム工学科
生 命 工 学 科	物 理 ・ 生 物	物理・化学	生体医用システム工学科、応用化学科、機械システム工学科、知能情報システム工学科
		物理・生物	
		化学・生物	応用化学科
生体医用システム工学科		物理・化学	生命工学科、応用化学科、機械システム工学科、知能情報システム工学科
		物理・生物	
		物理・地学	機械システム工学科、知能情報システム工学科
応 用 化 学 科		物理・化学	生命工学科、生体医用システム工学科、機械システム工学科、知能情報システム工学科
		物理・生物	
		化学・生物	生命工学科
機械システム工学科		物理・化学	生命工学科、生体医用システム工学科、応用化学科、知能情報システム工学科
		物理・生物	
		物理・地学	生体医用システム工学科、知能情報システム工学科
知能情報システム工学科		物理・化学	生命工学科、生体医用システム工学科、応用化学科、機械システム工学科
		物理・生物	
		物理・地学	生体医用システム工学科、機械システム工学科

生 命 工 学 科	化 学 ・ 生 物	物理・化学	応用化学科
		物理・生物	
		化学・生物	
応 用 化 学 科		物理・化学	生命工学科
		物理・生物	
		化学・生物	

後期日程

第 1 志望学科	個別学力 検査理科 受験科目	大 学 入 学 共 通 テ ス ト 理科受験科目	第 2 志望に指定可能な学科
生 命 工 学 科	物 理	物理・化学	第 1 志望を除く全学科
		物理・生物	生体医用システム工学科、応用化学科、機械システム工学科、知能情報システム工学科
		化学・生物	応用化学科
生体医用システム工学科		物理・化学	第 1 志望を除く全学科
		物理・生物	生命工学科、応用化学科、機械システム工学科、知能情報システム工学科
		物理・地学	機械システム工学科、知能情報システム工学科
応 用 化 学 科		物理・化学	第 1 志望を除く全学科
		物理・生物	生命工学科、生体医用システム工学科、機械システム工学科、知能情報システム工学科
		化学・生物	生命工学科
化学物理工学科		物理・化学	第 1 志望を除く全学科
機械システム工学科		物理・化学	第 1 志望を除く全学科
		物理・生物	生命工学科、生体医用システム工学科、応用化学科、知能情報システム工学科
		物理・地学	生体医用システム工学科、知能情報システム工学科
知能情報システム工学科		物理・化学	第 1 志望を除く全学科
		物理・生物	生命工学科、生体医用システム工学科、応用化学科、機械システム工学科
		物理・地学	生体医用システム工学科、機械システム工学科
生 命 工 学 科	化 学	物理・化学	応用化学科、化学物理工学科
		物理・生物	応用化学科
		化学・生物	
応 用 化 学 科		物理・化学	生命工学科、化学物理工学科
		物理・生物	生命工学科
		化学・生物	
化学物理工学科		物理・化学	生命工学科、応用化学科

試 験

試 験 日 時

【前期日程】 令和7年2月25日（火）

学 部	学 科	時 間 ・ 教 科		
農 学 部	全 学 科	9 : 20～12 : 00	13 : 40～14 : 40	16 : 00～18 : 00
工 学 部		理 科 (160 分) 注)	英 語 (60 分)	数 学 (120 分)

注) 前期日程の「理科」は、1 試験時間中(160 分)に出願時に選択した2科目を解答します。

【後期日程】 令和7年3月12日（水）

学 部	学 科	時 間 ・ 教 科		
農 学 部	全 学 科	9 : 20～11 : 00		
		英 語 (100 分)		
工 学 部	全 学 科	9 : 20～11 : 00	12 : 40～14 : 40	16 : 00～17 : 00
		英 語 (100 分)	理 科 (120 分)	数 学 (60 分)

受 験 票

(1) 試験当日は、

「令和7年度東京農工大学一般選抜受験票」

「令和7年度大学入学共通テスト受験票」

の2種類を必ず持参してください。

また、休憩時間中に試験場の外に出る場合は、2種類の受験票を必ず携帯してください。

(2) 受験票を持参しなかった場合は、試験開始前に再発行の手続が必要になります。

特に「大学入学共通テスト受験票」を忘れる受験者が多くいますが、この手続に時間がかかり、手続中に試験が始まってしまうこともありますので、受験票は2種類とも忘れずに持参してください。なお、手続中に試験が始まった場合でも、原則として試験時間の繰り下げなどの配慮はいたしません。

(3) これらの受験票は入学手続にも必要となりますので、受験後も大切に保管しておいてください。

令和7(2025)年度

特別選抜学生募集要項

農学部／工学部

- ・社会人入試
- ・私費外国人留学生入試



東京農工大学

Tokyo University of Agriculture and Technology

入学定員および募集人員

〔農学部〕

学 科 名	入学定員	募 集 人 員						
		前期日程試験	後期日程試験	ゼミナール入試	学校推薦型選抜	学校推薦型選抜 (産業動物獣医師養成枠)	社会人入試	私費外国人留学生入試
生物生産学科	57 人	38 人	13 人		6 人		若干名	若干名
応用生物科学科	71 人	47 人	16 人		8 人		若干名	若干名
環境資源科学科	61 人	40 人	12 人	3 人	6 人		若干名	若干名
地域生態システム学科	76 人	53 人	15 人		8 人		若干名	若干名
共同獣医学科	35 人	25 人	6 人		4 人	若干名 (最大2名程度)		若干名
学 部 計	300 人	203 人	62 人	3 人	32 人			

- (注) 1. 前期日程の募集人員には、学校推薦型選抜（産業動物獣医師養成枠）、社会人入試および私費外国人留学生入試の「若干名」を含みます。ただし、学校推薦型選抜（産業動物獣医師養成枠）、社会人および私費外国人留学生入試は選抜の結果、合格者なしとなる場合があります。
2. ゼミナール入試および学校推薦型選抜の合格者数が募集人員に満たなかった場合は、その欠員分は前期日程の募集人員に加えます。

〔工学部〕

学 科 名	入学定員	募 集 人 員				
		前期日程試験	後期日程試験	SAIL入試	学校推薦型選抜	私費外国人留学生入試
生命工学科	81 人	42 人	25 人	7 人	7 人	若干名
生体医用システム工学科	56 人	28 人	18 人	6 人	4 人	若干名
応用化学科	81 人	42 人	36 人		3 人	若干名
化学物理工学科	81 人	41 人	31 人	5 人	4 人	若干名
機械システム工学科	102 人	52 人	37 人	5 人	8 人	若干名
知能情報システム工学科	120 人	64 人	42 人	7 人	7 人	若干名
学 部 計	521 人	269 人	189 人	30 人	33 人	

- (注) 1. 前期日程の募集人員には、私費外国人留学生入試の「若干名」を含みます。ただし、私費外国人留学生入試は選抜の結果、合格者なしとなる場合があります。
2. SAIL入試および学校推薦型選抜の合格者数が募集人員に満たなかった場合は、その欠員分は前期日程の募集人員に加えます。

社会人入試

〔農 学 部〕

趣 旨

農学部では、社会人としての実践的な経験を通じて、勉学に強い意欲を持った者に高等教育を受ける機会を与えることを目的として社会人入試を実施しています。

実施学科・募集人員

学 科 名	生物生産学科、応用生物科学科、環境資源科学科、地域生態システム学科
募集人員	各学科若干名

社会人入試
(農学部)

農学部では、夜間に授業は開講していません。

出 願 要 件

令和7年3月31日までに満23歳に達し、社会人としての経験を通算5年以上（満5年を含む。）有する者で、次の各号のいずれかに該当する者です。

- (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和7年3月までに卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育または通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者および令和7年3月までに修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち次の各項目の一つに該当する者および令和7年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者（昭和56年文部省告示第153号）
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準（平成17年文部科学省告示第137号）を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者（平成17年文部科学省告示第167号）
 - ④ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
 - ⑥ 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者

----- 社会人としての経験とは -----

- ・公務員・会社員・団体職員・自営業者の就業経験が社会人としての経験に当たります。なお、当該経験に当たたる経歴は、「職歴調書」の欄にすべて記載してください。
- ・全日制の学校に在籍していた期間は社会人としての経験の期間に入りませんが、就業しながら定時制・通信制の学校に在籍していた期間は当該経験に当たります。

選 抜 方 法

- (1) 大学入学共通テストを免除し、学力試験、面接、志望理由書、調査書等を総合して選考します。
- (2) 評価のポイントと方法および合否判定については、21ページを参照してください。

学力試験出題科目

学 科	科 目 名	備 考
生 物 生 産 学 科	理科（化学、生物から1科目選択）、英語	・学力試験の内容は、一般選抜前期日程教科・科目と同じです。 ・理科は出願時に届け出た科目とします。
応 用 生 物 科 学 科		
環 境 資 源 科 学 科	理科（物理、化学、生物から1科目選択）、英語	
地域生態システム学科		

試験日時・試験場

試験日時	令和7年2月25日（火）	10:40～12:00 理科	13:40～14:40 英語
	令和7年2月26日（水）	集合 13:00 面接	
試験場	農 学 部（府中キャンパス）		

- (注1) 理科の試験においては、試験開始時刻20分前までに、指定された席に着いてください。
- (注2) 理科の試験において遅刻した場合は、試験開始後30分以内に限り受験を認めます。
- (注3) 面接の試験においては集合時刻を厳守してください。なお、遅刻限度は集合時刻より30分です。

合 格 発 表

日 時	令和7年3月7日（金）午前10時
場 所 等	農学部掲示板（3日間掲示）※1
合格者には合格通知書と入学手続書類等を別途郵送します。 なお、情報提供の一環として、本学ホームページ（ https://www.tuat.ac.jp/ ）にも、3月7日（金）午前10時頃から3日間※1、合格者の受験番号を掲載する予定ですが、公式の通知は掲示および送付する合格通知書によります。※2	

(※1) 土日・祝日を除く。

(※2) 電話その他による合否に関する問い合わせには、いかなる事由があっても応じません。

留 意 事 項

合格者が、令和7年3月15日（土）までに入学手続を完了しないときは、社会人入試の合格者としての権利を消失します。

令和 7 年度 前期 日程 試験 問題

化 学 (Z)

注 意 事 項

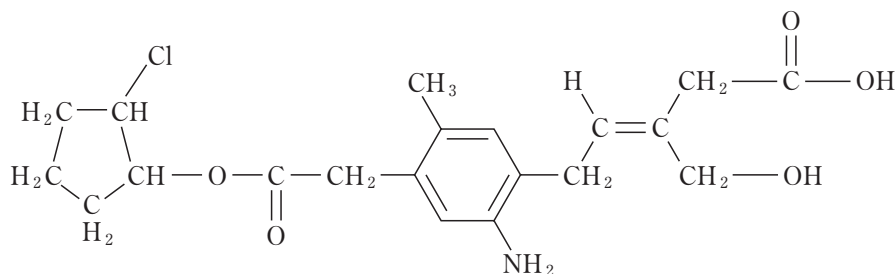
1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子は、18 ページあります。
3. 問題は **1** ～ **4** の 4 題です。全問解答しなさい。
4. 試験開始後に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁がないことを確認し、ある場合には手をあげて監督者に知らせなさい。
5. 問題冊子の針金とじは、はずしてもかまいません。問題冊子の余白は下書き、計算用に使用してもかまいません。
6. 解答用紙(別紙)は 4 枚(Cい～Cに)です。
7. 各解答用紙の指定欄に、受験番号を記入しなさい。
8. 解答は、必ず解答用紙の指定箇所に記入しなさい。
9. 解答用紙は、持ち帰ってはいけません。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。
11. ページ 1 ～ 2 に「解答上の注意」があるので、試験開始後に必ず読みなさい。

解答上の注意

1. 字数を指定している設問の解答では，解答欄の1マスに1文字を書きなさい。数字，化学式を示すアルファベット，酸化数を表すローマ数字，カッコ，句読点，記号は，上付き下付き文字も含めて次の例に示すように1文字とみなしなさい。

ク	ロ	ム	酸	イ	オ	ン	C	r	O	₄	²	-	は	,	鉛	(	Ⅱ	)	イ
オン	P	b	²	+	と	反	応	し	て	P	b	C	r	O	₄	の	黄	色	
沈	殿	を	生	じ	る	。	温	度	5	.	2	0	°	C	で	圧	力	は	3
5	P	a	で	あ	る	。													

2. 構造式を示す必要がある設問では，次の例にならって解答しなさい。なお，問題文に描き方が指示されている場合には，指示に従いなさい。



3. 解答欄に指示がある設問では，「答」だけでなく，「考え方と計算過程」，「答えを導く過程」，「考え方と導出過程」，「計算過程」などを指示にしたがって記しなさい。
4. 計算問題の有効数字は，問題文の指示に従いなさい。

5. 定圧下の化学反応に伴って放出・吸収される熱量，つまりエンタルピー H の変化を反応エンタルピーといい，記号 ΔH で表す。反応熱 Q と反応エンタルピー ΔH は大きさが等しいが，互いに符号が逆になる。他に昇華熱と昇華エンタルピーとの関係も，反応熱と反応エンタルピーとの関係と同じである。

6. 必要であれば，次の原子量，基本定数を用いなさい。

・原子量

H : 1.0 C : 12.0 O : 16.0 Na : 23.0 Si : 28.1

Cl : 35.5

・基本定数

気体定数 : $8.31 \times 10^3 \text{ Pa} \cdot \text{L} / (\text{mol} \cdot \text{K})$

アボガドロ定数 : $6.02 \times 10^{23} / \text{mol}$

絶対零度 : $-273 \text{ } ^\circ\text{C}$

2

次の文章を読んで、以下の問〔1〕～〔6〕に答えなさい。

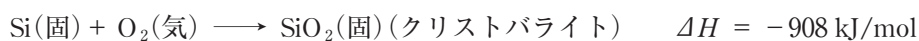
ケイ素は、岩石や鉱物の成分元素として、地殻中で酸素の次に多く存在する。

単体のケイ素はその酸化物である二酸化ケイ素を炭素で還元することで得られ
 (a) る。単体のケイ素は、(ア) 結合からなる結晶構造(図1)をとり、 (イ)
 (b) 色で金属に似た光沢をもつ。高純度のケイ素は室温でわずかに電気伝導性があり、(ウ) としての性質をもつ。そのため、ケイ素の結晶は集積回路や太陽電池等の電子部品の材料として用いられている。

二酸化ケイ素は、図2に示すように、一つのケイ素原子の周囲に四つの酸素原子が (ア) 結合でつながった四面体の基本単位が繰り返された構造をもつ、
 組成式 SiO_2 の結晶である。二酸化ケイ素は酸性酸化物であり、水や強酸に溶解しない安定な化合物であるが、フッ化水素酸とは反応して溶解する性質がある。
 (c) 高純度の二酸化ケイ素を融解して繊維化したもので、光通信などに利用されるものを (エ) と呼ぶ。一方で、二酸化ケイ素の結晶は温度や圧力によって Si-O-Si 結合角(図2(左)の θ)が変化し、結晶構造の違いが生じる。例えば、Si-O-Si 結合角 θ が 180° であるクリストバライトに対して、水晶はその結合角 θ
 (d) が 147° と小さく、単位体積あたりの原子数が (オ) ため、水晶の結晶はクリストバライトよりも密度が大きい。

二酸化ケイ素の粉末を炭酸ナトリウムと混合して 1300°C で融解すると、(カ) が生成する。(カ) に水を加えて加熱すると、(キ) と呼ばれる無色透明で粘性の大きな液体が得られる。(キ) の水溶液に塩酸を加えると、白色ゲル状のケイ酸($\text{SiO}_2 \cdot n\text{H}_2\text{O}$)の沈殿が生成する。ケイ酸を加熱して
 (e) 脱水・乾燥すると、乾燥剤や吸着剤として利用できる (ク) になる。

〔5〕 下線部(d)について、二酸化ケイ素の結晶の一種であるクリストバライト中の、Si-O 結合の結合エネルギー[kJ/mol]を、以下の反応式およびエンタルピー変化の値 ΔH を用いて有効数字3桁で求めなさい。クリストバライト内の一つの Si 原子は四つの O 原子と結合していること(図2参照)に留意しなさい。



〔6〕 下線部(e)について、(ク) は水に対して乾燥剤や吸着剤として利用できる。その理由を「空洞」、「ヒドロキシ基」の語句を必ず含めて70字以内で答えなさい。

解答上の注意 5.

化学の試験問題の冒頭（2 ページ）に記載している「解答上の注意 5.」の記載内容に誤りがあり、関連する大問2中の問題〔5〕について、正答が二つ導ける状態となりました。

（誤）

…符号が逆になる。他に昇華熱と昇華エンタルピーとの関係も、反応熱と反応エンタルピーとの関係と同じである。

（正）

…符号が逆になる。一方、固体から液体を経ずに気体になる昇華過程では、昇華熱と ΔH (昇華エンタルピー) は大きさも符号も同じである。